国立大学法人東京海洋大学次期学長候補者の決定について

国立大学法人東京海洋大学学長選考・監察会議（議長：井上　四郎　国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所海上技術安全研究所顧問）は、井関　俊夫　現学長の任期が令和 9 年 3 月 31 日をもって満了になることに伴い、令和 8 年 11 月 13 日（金）開催の学長選考・監察会議において、次期学長候補者を選考し、決定した。

【次期学長候補者】

氏　名　：　佐野　元彦

現　職　：　国立大学法人東京海洋大学教授

任　期　：　令和 9 年 4 月 1 日から令和 15 年 3 月 31 日（6 年間）

【選考経緯】

学長選考・監察会議から経営協議会及び教育研究評議会に対して、学長候補適任者の推薦を求めたところ、経営協議会から 2 名、教育研究評議会から 3 名の推薦があった（うち 1 名は重複）。

各会から推薦された者に対して、学長選考・監察会議議長から学長候補適任者となることについて意思確認を行ったところ、4 名のうち 3 名から受諾の意思表示があり、所信表明文の提出を受けた。

その後、学長候補適任者について学内意向投票を実施し、学長選考・監察会議委員による意見聴取を行った後、次期学長候補者の選考についての審議を行い、多数の委員の意見により、上記の者を次期学長候補者として決定した。

【選考理由】

学長選考・監察会議は、学内意向投票、国立大学法人東京海洋大学学長選考等規則に定める選考基準、学長候補適任者の所信表明及び意見聴取等をもとに慎重に審議した結果、佐野元彦氏が、次期学長に最も相応しいと判断した。

同氏は、多様な経歴・経験と卓越した研究実績を有している。また、国内唯一の海洋系大学として、海洋高度専門人材の養成に向け教育研究をさらに発展させるビジョンを有するとともに、本学が抱える課題を的確に把握し、その改善に向けた方策が示された。加えて、多様な構成員とのコミュニケーションを重視する姿勢が十分に確認できるなど、「東京海洋大学学長に求められる学長像」に掲げる 5 つの資質・能力を十分有していると判断した。

令和 8 年 11 月 13 日

国立大学法人東京海洋大学学長選考・監察会議